

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エフアタ会館ことばの教室			
○保護者評価実施期間	2026年4月20日 ～ 2026年4月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 2 名	(回答者数)	3 6 名
○従業者評価実施期間	2026年4月26日 ～ 2026年5月6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語や聴覚の専門家である言語聴覚士が、一人ひとりのお子さんを担当し、専門的な個別支援を行っています。標準化された検査を用いたアセスメントを定期的 to 実施し、発達状況を的確に把握したうえで支援に反映しているのが、当事業所の強みです。	言語や聴覚の専門家として、検査等によるアセスメントを行い、その結果に基づいた専門的な見解や支援方針を示すことを大切にしています。 個別支援計画の作成にあたっては、検査結果を根拠として反映しています。	診断や療育に関する最新の知見を取り入れるため、職員が継続的に学び、情報収集を行うことを重視しています。専門性向上のための研修参加を促進するため、会社として補助制度を設けています。
2	一人ひとりのお子さんと保護者のニーズや状況に合わせて個別支援計画を作成し、個々に応じた指導を行えることが当事業所の強みです。	保護者のご意向を丁寧に伺い、それを尊重したうえで、専門家として検査等によるアセスメントを行い、見解をお伝えしています。主訴と異なる場合には、その理由をわかりやすく説明し、保護者がお子さんにどのように関わればよいかも併せてお伝えしています。保護者の希望を取り入れつつ、情緒面や言語発達を中心とした個別指導を行うことを大切にしています。	一人ひとりのお子さんへの支援の質を高めるため、言語聴覚士が工夫して作成・収集している教材を共有・整理し、検索できる仕組みづくりを進めます。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所として、0～18歳を見通した長期的な視点で支援を行えることが強みです。就学・就労・自立を見据え、目標から逆算した計画を立て、進路を含む一貫した支援を提供しています。	就学・就労・自活などを見すえた長期的な視点を持ち、目標から逆算した計画を作ることを意識しています。	進学・就労に関する情報を職員間で共有し、支援に活かすための仕組みづくりを進めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境整備において、安全性や衛生面で改善の余地があります。設備の老朽化や衛生環境の課題について、計画的な見直しが必要です。	施設の老朽化や、人員・時間の制約により、環境整備が計画的に進みにくい状況があります。	施設の老朽化や設備の課題に対応するため、必要な予算の確保や設備の更新、定期的なメンテナンス体制の整備を進める必要があります。また、環境整備を継続的に行うための社内ルールづくりも検討しています。
2	運用体制において、安全管理や個人情報管理の面で改善の余地があります。必要な体制整備を計画的に進めていきます。	業務量が多く、整理整頓や備品管理が後回しになりやすい体制が課題となっています。	安全管理の徹底や個人情報の適切な取り扱いに向けて、設備配置の見直しや、保管・廃棄手順の整理など、運用体制の改善が必要です。
3	社内外への情報周知において、スピードや頻度の面で改善の余地があります。今後、より円滑な情報共有体制の整備を進めていきます。	情報発信など一部の業務が特定の職員に集中しており、属人化が生じていることが課題の要因となっています。	情報発信業務の属人化を防ぐため、業務分担の見直しや、発信方法の工夫が必要です。複数の手段を活用し、より分かりやすく迅速な情報提供ができる体制づくりを進めます。